

# モデル研修（基礎研修）プログラム

会場：ピアザ淡海 203 会議室

時間	1 日 目 プ ロ グ ラ ム 2月3日 (月) 基 礎 研 修 【告示後】			講師 (敬称略)
9:30～	受付			
9:50～	開会・研修のねらい			
10:00 ～ 11:00	60	強度行動障害の理解 ①-強度行動障害の状態 ②-行動障害が起きる理由 ③-支援の基本的な考え方	強度行動障害の状態・その後のプロセスを知る、行動障害のサイクル、行動は学習の結果である(未学習・誤学習)、気づかれにくい障害特性(冰山モデルの考え方)、問題性の理解(場面、相手、将来)、行動障害のメカニズム、作られる障害 = 作ってはいけない、児童期の予防の視点、ライフステージ、合理的配慮、強度行動障害支援の意義	講義 映像  藤井 亘 (NPO法人みらい)
11:00 ～ 12:00	60	強度行動障害の理解 ⑤-障害特性の理解	自閉スペクトラム症の人とは(イメージ)、自閉スペクトラム症の特性、コミュニケーション場面の留意点(理解、表出の両面)	講義 映像  加藤 潔 (国立障害者リハビリテーションセンター)
	45	昼休み		
12:45 ～ 14:45	120	強度行動障害の理解 ④-困っていることの体験	本人が困っていることの疑似体験、生活のしづらさ	演習  加藤 潔 (国立障害者リハビリテーションセンター)
	15	休憩		
15:00 ～ 16:30	90	支援のアイデア ①-1・2障害特性に基づいた支援	受容コミュニケーションと表出性コミュニケーション、構造化の意義と方法、好事例紹介	講義 映像  神田 宏 (横浜市発達障害者支援センター)
	15	休憩		
16:45 ～ 17:45	60	基本的な情報収集 ①-1・2-行動を見る視点	モデル事例、行動でとらえる、アセスメント(プロフィール・直接・間接)、行動を具体化する、行動観察記録を取る	演習 映像  大友愛美 (NPO法人ノーマライゼーションサポートセンター こころりんく東川)
		終了		

時間	2 日 目 プ ロ グ ラ ム 2月4日 (火) 基 礎 研 修 【告示後】			講師
9:30～	受付			
10:00 ～ 11:30	90	基本的な情報収集 ②-行動を記録する体験	行動を具体化する、行動観察記録を取る、冰山モデルで整理する	演習 映像  大友愛美 (NPO法人ノーマライゼーションサポートセンター こころりんく東川)
	60	昼休み		
12:30 ～ 13:30	60	チームプレイの基本 ①-チームプレイの必要性	チームアプローチ、職場内での連携の必要性、医療・教育・家庭との連携の基礎知識、手順書に沿った支援を行うことの意味を理解する	講義  山根和史 (社会福祉法人北摂杉の子会)
13:30 ～ 14:30	60	チームプレイの基本 ②-支援手順書に基づく支援の体験	支援手順書に沿った支援を行う	演習 映像  山根和史 (社会福祉法人北摂杉の子会)
	15	休憩		
14:45 ～ 15:45	60	この研修の意義 ①-行動障害と虐待防止	行動障害と虐待の関連性、身体拘束について、職場の理解を得る、メンタルヘルスに留意する	講義  片桐公彦 (厚生労働省)
15:45 ～ 16:15	30	実践報告	支援実施について実践報告、関係者からのメッセージ	講義  竹矢 恒 (社会福祉法人同愛会)
16:15 ～ 16:45	30	この研修の意義 ②-家族の気持ち	当事者と家族のニーズを知る、保護者の気持ち	講義  小島幸子 (全国手をつなぐ育成会連合会)
		閉会		

※プログラム及び講師は変更になる場合があります。

## モデル研修（実践研修）プログラム

会場：大津プリンスホテル伊吹

時間	1 日 目 プ ロ グ ラ ム 2月5日(水) 実 践 研 修 【告示後】			講師
9:30～	受付			
9:50～	開会・研修のねらい			
10:00 ～ 12:00	120	支援を組み立てるための基本 ①-支援を組み立てるための基本的な流れ ②-障害特性と行動についての再確認	支援手順書の意義、PDCAサイクル、アセスメント→プランニング(支援手順書)→支援の実施→記録(再アセスメント)→再プランニング(支援手順書の修正)の流れ、チームアプローチの重要性、支援手順書の役割と支援の統一、障害特性の再確認、行動の意味を理解する	講義 川西大吾 (株式会社トモニ)
	45	昼休み		
12:45 ～ 13:45	60	アセスメントの方法 ①-具体的なアセスメントの方法	プロフィール情報の集め方、間接的アセスメント、直接的アセスメント、障害特性に基づくアセスメントの重要性	演習 映像 福島龍三郎 (NPO法人全国地域生活支援ネットワーク)
13:45 ～ 15:45	120	アセスメントの方法 ②-障害特性に基づくアセスメント	障害特性に基づくアセスメント、直接的アセスメント(行動を決める)、直接的アセスメント(指標を決める)、環境のアセスメント、氷山モデルの理解と作成	演習 映像 福島龍三郎 (NPO法人全国地域生活支援ネットワーク)
	15	休憩		
16:00 ～ 17:00	60	関係機関との連携 – 関係機関との連携方法	福祉と医療の連携、福祉と教育の連携、家庭との連携	講義 會田千重 (国立病院機構肥前精神医療センター)
		閉会		

時間	2 日 目 プ ロ グ ラ ム 2月6日(木) 実 践 研 修 【告示後】			講師
9:15～	受付			
9:30 ～ 10:30	60	手順書の作成 ①-アセスメントに基づく支援手順書の作成(1)	構造化の考え方と方法、強みや好みを活かす視点、支援手順書の作成方法	演習 映像 福島龍三郎 (NPO法人全国地域生活支援ネットワーク)
10:30 ～ 12:30	120	手順書の作成 ②-アセスメントに基づく支援手順書の作成(2)	構造化の考え方と方法、強みや好みを活かす視点、支援手順書の作成方法	演習 映像 福島龍三郎 (NPO法人全国地域生活支援ネットワーク)
	45	昼休み		
13:15 ～ 14:45	90	記録の分析と支援手順書の修正 ①-記録の方法 ②-記録の分析と支援手順書の修正	行動の記録の方法、記録の整理と分析、再アセスメントと手順書の修正	演習 映像 福島龍三郎 (NPO法人全国地域生活支援ネットワーク)
	15	休憩		
15:00 ～ 16:00	60	組織的なアプローチ ①-組織的なアプローチの重要性	支援現場をバックアップする管理職と共同することの重要性、ケース検討会の有効性と実施プロセス、支援者ケアの大切さ、地域で支えていく	講義 本多公恵 (社会福祉法人滝乃川学園)
16:00 ～ 16:30	30	組織的なアプローチ ②-実践報告	支援の組み立てから実施までの実践報告(生活場面、日中活動場面、外出場面)	講義 大田優子 (NPO法人生活支援センターわたぼうし)
		閉会		

※プログラム及び講師は変更になる場合があります。